大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年第29週(7月17日~7月23日)

今週のコメント

~新型コロナウイルス感染症~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、換気、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 引き続き増加」

第29週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,215例であり、前週比18.6%減であった。定点あたり報告数の第1位はヘルパンギーナで以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.11、2.68、1.93、1.47、1.46である。

ヘルパンギーナは前週比35%減の604例で、北河内4.76、中河内4.33、堺市4.00、大阪市北部3.36、泉州3.14であった。 感染性胃腸炎は16%減の520例で、南河内5.20、中河内4.39、三島3.69である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%減の375例で、大阪市南部3.28、南河内2.67、中河内2.61であった。

咽頭結膜熱は31%増の285例で、大阪市南部3.61、大阪市東部2.27、南河内1.73である。

RSウイルス感染症は12%減の284例で、南河内3.33、大阪市北部2.93、泉州1.52であった。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は前週比33%増の4,028例で、定点あたり報告数は13.56である。南河内17.04、堺市16.10、泉州15.06、大阪市北部14.40、北河内14.20であった。第20週以降10週連続で増加が続いている。年齢別では、第1位は10-19歳で20%を占めている。60歳以上の割合は20%であった。

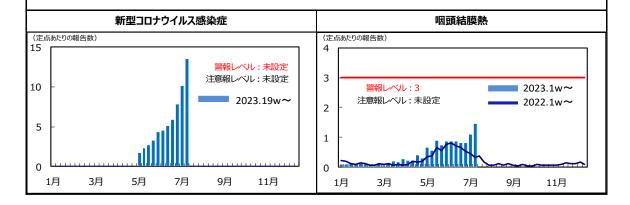


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年第29週7月17日~7月23日)

第29週 の順位	第28週 の順位	感染症	2023年 第29週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2022年 第29週の 定点あたり 報告数	2023年第29週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	ヘルパンギーナ	3.11	35%減	0.14	1歳_21%
2	2	感染性胃腸炎	2.68	16%減	3.21	1歳_13%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	11%減	0.22	4歳_18%
4	5	咽頭結膜熱	1.47	31%増	0.32	4歳_22%
5	4	RSウイルス感染症	1.46	12%減	7.23	1歳未満_40%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	13.56	33%增	-	10-19歳_20%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第29週のコメント

〜腸管出血性大腸菌感染症〜 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。 汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏~初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症(大阪府感染症情報センター) 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

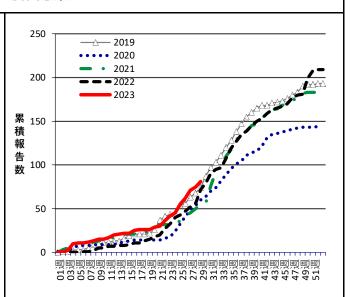


表 2. 大阪府全数報告数 (2023年 第29週7月17日~7月23日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1	1			1			3	81
	日本紅斑熱	1							1		5
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	72
	アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)	1								1	25
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1								1	76
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1								1	40
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	82
	梅毒	13				1		1	1	10	1,142
 結核	結核 新登録患者数:106名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 34名)										
(2023年5月分)	(府内累積報告数 470名、内 肺・喀痰塗抹陽性 164名)										

(2023年7月25日 集計分)